



認定 NPO法人
日本・ミャンマー
医療人育成支援協会
〒700-0815
岡山市北区野田屋町2-4-18
TEL: 086-224-0102
FAX: 086-221-2554
URL: http://www.mjcp.or.jp

2025年度予算

費目	予算額		説明
	一般会計	特別会計	
繰越金	11,204,722	34,448,272	前年度より繰越
会費・入会金	1,200,000	0	会費100人、賛助会費10人、役員運営協力金13人
寄付金	5,000,000	2,000,000	永山積善会、ニチニチ製薬、一般寄付金、 (特別会計) 旭東病院、ヒカリカナタ基金
雑収入	50,000	0	預金利子等
合計	17,454,722	36,448,272	

費目	予算額		説明
	一般会計	特別会計	
事業費計	8,250,000	15,000,000	一般会計 医療人交流促進事業 800,000 医療人研修支援事業 4,500,000 医療人研修協賛事業 50,000 医療実践支援事業 1,500,000 組織活動広報事業 500,000 家賃地代等 900,000
			特別会計 田中奨学金10人、10,000,000 あかね基金 1,000,000 旭東病院 1,000,000 ヒカリカナタ基金 1,000,000 地震 2,000,000
管理費計	1,711,000	0	
会議費	50,000	0	理事会、総会費用
旅費交通費	10,000	0	出張旅費
通信運搬費	200,000	0	電話代・インターネット使用料等
消耗品費	10,000	0	事務用品、電話機交換
水道光熱費	150,000	0	電気、ガス、水道代等
印刷費	1,000	0	総会資料印刷代
諸謝費	10,000	0	講演等謝礼
保険料	70,000	0	火災保険等
支払手数料	30,000	0	郵便振替手数料等
業務委託費	250,000	0	業務委託、会計事務委託料
地代家賃	850,000	0	賃貸契約に基づく固定資産税
雑費	80,000	0	購読新聞料、葬祭費
予備費	7,493,722	21,448,272	
合計	17,454,722	36,448,272	

2025年度総会を開催
……事業計画・予算を承認

去る8月2日、第20回日本・ミャンマー医療人育成支援協会の2025年度総会が岡山市中区のプラザホテルを会場に開かれた。この総会では、昨年度(24年7月1日より25年6月30日まで)の事業報告と会計決算を報告。続いて、今年度(25年7月1日より25年6月30日まで)の事業計画、予算案が承認された。

事業報告では、本年3月に発生したミャンマー地震についての報告も実施。本協会主催の復興支援事業への会員や支援者からの協力に対して、感謝が述べられた。

また、総会後に催された懇話会では、例年と同じく招待したミャンマーからの留学生、技能実習生たちも加わって、会員と共に和やかな交流が繰り広げられた。



主な事業

一般会計、特別会計を含め、学校の寄贈、超音波機器の送付、ヒカリカナタ基金との協働事業、現在就学中の学業および交流の支援、医療人教育などに引き続き支援する。また、震災支援に関しては、特別会計を引き継ぐ。

ミャンマー大地震への
会員、支援者からの協力に感謝

本誌前号でもお伝えした3月28日にミャンマー中部を襲った大地震は、発生から半年を経てもなお余震が続いています。公式発表では死者3,800人超、数十万人の避難者、住宅被害は55,587棟、その他、道路、橋、公共施設の損壊も多数となっている状況です。

さらに、材料不足による住宅建築やインフラ復旧の遅れ、物価の高騰なども深刻な状況。会としては、引き続き支援を続けたいと考えています。

なお、今回の震災復興事業に賛同の上、浄財をご寄付いただいた方は、8月1日現在で256人。ご寄付額10万円以上の方が32人、

3万円以上が57人、1万円以上が132人で、合計金額は9,724,036円となっています。

ここに、紙面制約のため3万円以上の方に限らせていただきます(悪しからずご了承ください)が、ご寄付いただいた方の氏名を掲載し、感謝の意を表したいと思います(公表辞退者を除く・敬称略)。



- 平○小松原正吉○森泰伯
○高島隆操(志会)○湯本泰弘○なまき佐々木蘭科
○江尻博子○亀田雅博○森健太郎(森教育学園)○ニチニチ製薬○(協組)アシストビズ○順正学園○岡山ライオンズクラブ○学校法人加計学園○柳井広之○清水信義○税理士法人久遠○富田明子○保科英子○小林求○秋山隆○永山久夫○水川展吉○浅沼幹人○山本理恵○小林省二○山口輝見子○逢沢俊枝○松本皓○田中明輔○(協組)アイビユー○佐藤千恵○井上浩○(医)白鳳会○赤穂中央○(医)シヨウワ会○保田立二○牛尾光宏○山田潔○カイトックエンタープライズ○赤木忠厚○岡山コンクリート工業○旭川荘本部○森友由○鳥越麻美○杉原雄策○越宗孝昌○猪木健二○佐伯正夫○志摩志郎○氏家良人○佐藤真知子○久松俊昭○藤本由紀夫○遠藤美和○八木孝仁○ワールドスタッフキョウト○高井研一○藤原智子○土井章弘○佐藤公行○千原多美子(株成通)○宮嶋裕明○小田慈○江利川毅○高山房子○塚原宏一○大森昌子○安井由美子○福岡啓祐(福岡医院)○新潟大学医学部国際保健学科

MJCP田中奨学金が育むミャンマーの若き医療人の夢と志

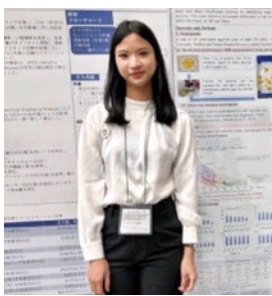
2023年に田中奨学金の受給生となったミョーマウンマウンさんとエイミャーミャーカインさん
共に新潟大学大学院で大きな成果をあげ ミャンマーの歯科医療の将来を担うことが期待される

内外の学会で数度にわたり研究成果を発表

教室は口腔機能とその衰えに関する研究に重点が置かれていて、私もその方面の仕事をしています。最初には口腔機能の測定法の学習に重

私はミャンマーから来たエイミャーミャーカインです。マンダレー歯科大学を卒業後、研究と臨床知識を身に着けるため新潟大学の博士課程に応募し、2022年4月に受け入れられて、現在は新潟大学大学院包括歯科補綴学分野(小野高裕教授)に在籍しています。

私はミャンマーから来たエイミャーミャーカインです。マンダレー歯科大学を卒業後、研究と臨床知識を身に着けるため新潟大学の博士課程に応募し、2022年4月に受け入れられて、現在は新潟大学大学院包括歯科補綴学分野(小野高裕教授)に在籍しています。



新潟大学大学院包括歯科補綴学分野
エイミャーミャーカイン

博士(歯学)号を取得し引き続き新潟大学で研究を

私はミャンマーから来たミョーマウンマウンです。現在、新潟大学大学院医歯学総合研究科組織再建口腔外科学分野(小野正治教授)に在籍、顎再生外科科学的な研究を先端研究を追及しています。マンダレー歯科大学を卒業



新潟大学大学院医歯学総合研究科
組織再建口腔外科学分野
ミョーマウンマウン



点を置き、附属病院での治療を症例報告できるように注意深く観察していました。最初の研究成果の報告は、23年5月に横浜で開催された第132回日本補綴歯科学会でした。これを基礎に、咀嚼機能の評価をスマホで撮った画像解析で行う方法に焦点を絞りました。しばらく噛んだ後の粘稠なジェリーの粒を分析する方法が、私の博士研究となったのです。24年にはこの研究成果を、マレ

して新潟に来ましたが、コロナ禍の中、出発が思うようにいかず、日本に到着するのが遅くなりました。やっと日本に到着してからも、異なった文化や環境に慣れるのは大変でした。しかし、先生や友人の励ましにより、すぐに自信を取り戻し、新しい環境に慣れることができたと思います。私費留学だったのですが、MJCP田中奨学金に選ばれたことが幸いでした。奨学金で生活費を賄うことができ、研究に集中することができたのです。新潟大学では、4つのプロジェクトに関わり、いずれも論

文として発表しました。最初の研究成果は第33回日本顎変形症学会(2023年)で優秀ポスター賞を受賞。続けて行った研究は、マレーシアのマラッカで開催された第38回国際歯学研究学会、東南アジア集会(IADR SEA)で口頭発表となり、最優秀研究賞を獲得しました。

これらの成果は、田中奨学金の寛大な支援によるものです。心から感謝を申し上げます。日本で得たこの知識と成果が、国難に直面している故国の医療の再興に役立つことを祈っています。

この3年の間に、日本は単に勉強のための場所ではなく、成長、発展、ひらめきの場所となりました。私が受けてきた学問的な指導と個人への支援は、私の成長に強いインパクトを持っています。特に、良き指導力と協調性が重視される大学のメンバーとなったことに感謝しているのです。さらに、私の勉強のため、無上の機会を与えてくださった田中奨学金の選考委員の方々にお礼申し上げます。こうして私が受けた大きな支援に感謝すると共に、温かい励ましは、生涯、心に抱き続けるつもりです。



そ、安心して自分の研究に進み、成長することができたと思います。これらを含めた生活は、MJCP田中奨学金の寛大な支援がなければ不可能でした。奨学金によつて生活が支えられ、勉強と研究に没頭することができたのです。また、日本での日常生活を楽

し、学会に出席し、博士になる道を進むことができました。私が成し遂げたことは、学会での発表、研究の進展、学術誌への投稿などですが、この奨学金が基になっていました。

田中奨学金関係者の皆様には、計り知れないほどの機会を与えてくださったことに感謝いたします。親切さと寛大さ、温かい励ましは生涯、忘れません。ヘルスケアの再建と強化が必要とされている時こそ、私の得た知識と経験がミャンマーの医歯学分野の発展に寄与できることを願っています。

伊原木県知事より賞を受け取る
越宗孝昌さん写真 山陽新聞社提供



第58回となる岡山県三木記念賞を、協会の越宗孝昌理事が受賞した。これは、岡山県のスポーツ界への長年にわたる貢献、および文化、芸術などを通じて全国との活性化を推進し、岡山の地域力向上への貢献が評価されたもの。

岡山県スポーツ界等への貢献 越宗理事長 三木記念賞を受賞

ルネスホールで授与式が行われ、伊原本隆太県知事から賞状と副賞が贈られた。

越宗理事長は「受賞は一緒にスポーツの振興や文化・芸術の発展に取り組んできた多くの皆様のお力添え、お支えのおかげです。私な

り、岡山県の発展に尽くした三木知事が耕された土壌に、これからの一輪でも多くの花が咲くよう、わずかばかりですがお力添えができればと思っています」と挨拶。授与式後の式場では、過去の同賞受賞者も出席し、お祝いの言葉を交わしながら交流を深めた。

三木記念賞は1950年から岡山県知事を4期務めた故三木行治氏が、64年、アジアのノーベル賞といわれる「マグサイサイ賞」を日本人で初めて受賞し、その賞金が岡山県に寄付されたことにより創設されたもの。地域社会に貢献した人に毎年贈られている。

協会短報

岡本敬の介理事および小丸成洋理事が8月、外出の困難さを理由に理事再任を辞退したい旨の連絡があり、本年8月2日開催の理事会で承認された。

岡本理事は岡山大学薬学部部長を歴任した後にインド西ベンガル州 Kolkata 市にある「岡山大学インド感染症共同研究センター」を中心に感染症対策や健康増進プロジェクトを進めていた。本協会設立時に本協会理事就任。

小丸成洋理事は福山通運社長、福山通運関連会社の代表取締役を歴任。現在、福山通運会長。本協会は福山通運関連団体である公益財団法人渋谷育英会より長年助成金を受けた。2015年に本協会理事就任。

現在の本協会役員数は、顧問1、理事13、ヤングン代表1、監事1。

編集後記

震災発生から半年を経てもなお、多くの被災者が厳しい避難生活を強いられているミャンマー。紛争の影響を受けた地域では、この地震によって地雷や不発弾が露出し、その危険も高まっているようです。私たちにできることは限られていますが、何よりも大切なのは、彼の地を思いやる気持ちを絶やさず、そしてそれを広めることではないでしょうか。そのために、この「ミンガラバー」が一助になれば幸いです。(松尾)